

事例の区分

事業区分	建築物整備事業
配慮概要	省エネルギーおよび自然環境と調和した環境にやさしい建築物

事業の概要

事業名	能登空港ターミナルビル建設工事
実施場所	輪島市三井町洲衛地内
事業主体	石川県（担当課：営繕課）
実施期間	平成13年12月～平成15年4月
全体事業費	約2,720,000千円
事業規模等	規模：建築面積2,960.80㎡、延床面積9,491.82㎡
事業概要	<p>「森に囲まれた空港」をメインテーマとして、能登の環境を取り入れ、快適で、明るく、現代的デザインで単なる空港ターミナルビルでなく、国内では初めての試みとして、奥能登に分散されている県の各行政事務所を集約した奥能登行政センターとして合築し、空港を中心とした新たなまちづくりの核となる施設として建設された。</p> <p>用途：空港ターミナルビル、事務所 構造：鉄筋コンクリート造 地上4階 地下1階</p>

環境配慮の内容

空調負荷の抑制

- ・建物周囲のガラス窓に熱線吸収ガラスを採用
- ・屋根、外壁、土間に断熱材を入れ、省エネ化

自然エネルギーの利用

（太陽光発電パネル）

- ・屋上トップライトドームに太陽電池パネルを配置し、ラン展示室の空調用の補助熱源として利用
- ・自然通風による換気の活用

エネルギー・資源の有効利用

（屋根面の雨水利用）

- ・屋根面の雨水を集水し、地下ピットを利用した貯留槽（400m³）に導き、濾過および滅菌後、便所の洗浄水、樹木の散水に活用
- ・氷蓄熱冷暖房システムによる電力の平準化
深夜の安価な余剰電力を利用して地下蓄熱槽に冷温水を溜め、日中の冷暖房の熱源に利用するもので、日中の電力ピークを抑えて省エネ化を図る。
- ・自動制御および中央監視の充実による最適運用
空調・衛生・電気設備の運転監視は、中央監視室による最適運転の充実

環境負荷の少ない自然材料の採用

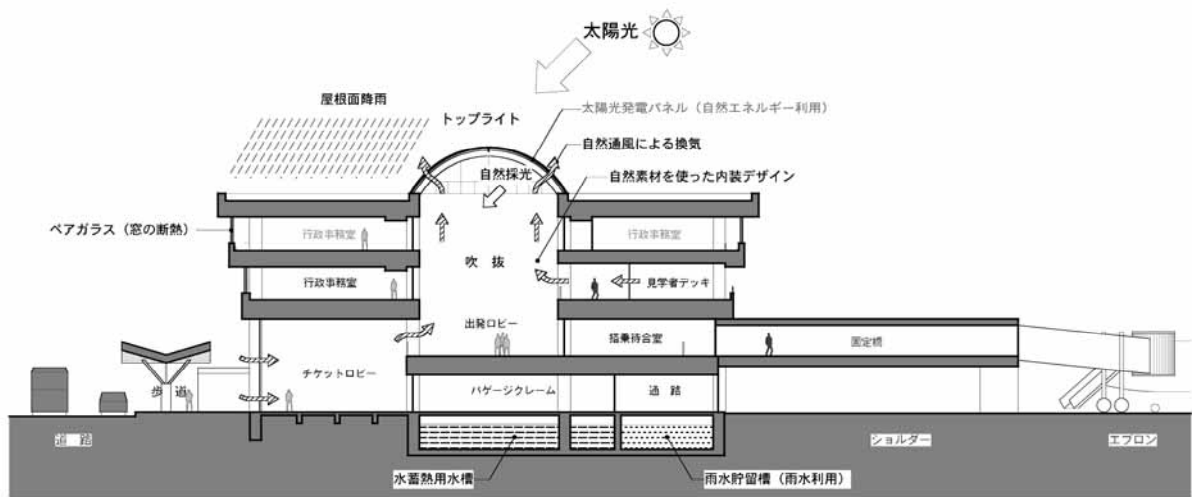
- ・内壁材に能登ヒバや床にリサイクル認定品タイルの使用

環境配慮の結果

- ・環境負荷の縮減、維持管理費の縮減を図ることができた。

今後の留意事項等

- ・建物の用途、規模に応じた建物機能を優先するとともに、今後は新たな環境対策や省エネ技術を採用し、環境にやさしい建築物の整備が重要と思われる。



エコ計画の概念図